

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年01月26日

計画の名称	道路ネットワーク強化による災害に強い道づくり（防災・安全）														
計画の期間	令和06年度 ～ 令和10年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	鹿児島県														
計画の目標	地震災害や川内原子力発電所、桜島火山噴火等に係る事前防災対策による道路の整備を推進し、災害時における円滑かつ確実な物資の輸送、避難経路であるICや避難港へのアクセス強化等を図り災害に強い道路交通網を形成する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,200	A	2,200	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初	R8末	R10末
1	道路整備により災害時における物資の輸送や避難所への走行時間が短縮され、走行時間を62時間短縮させる。 走行短縮時間：走行時間短縮時間（時間・台／日） （整備延長÷整備前規制速度）－（整備延長÷設計速度）×（24時間交通量）（時間・台／日）	32時間	62時間	62時間

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
・鹿児島県地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A-1,2												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）脇本赤瀬川線 梶 之浦工区	現道拡幅 L=0.7km	阿久根市	■	■				150		－	
	A01-002	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）鶴田大口線 大鶴 湖工区	現道拡幅 L=7.1km	さつま町	■	■				300		－	
		令和 8 年度に「地域強靱化を図る安全で円滑な物流等を確保するみちづくり②（防災・安全）」へ移行																		
	A01-003	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）宮ヶ原岩川停車場 線 岩川工区	現道拡幅 L=1.4km	曾於市				■	■	■	1,100		－
		令和 8 年度に「道路ネットワーク強化による地域間交流の促進②（防災・安全）」から移行																		
	A01-004	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）辺塚根占線 横別 府工区	現道拡幅 L=2.1km	南大隅町				■	■	■	650		－
		令和 8 年度に「道路ネットワーク強化による地域間交流の促進②（防災・安全）」から移行																		
												小計						2,200		
											合計						2,200			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06	R07			
配分額 (a)	141	109			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	141	109			
前年度からの繰越額 (d)	0	82			
支払済額 (e)	59	111			
翌年度繰越額 (f)	82	80			
うち未契約繰越額(g)	82	2			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	58.15	1.04			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関との協議や用地交渉等に不測の日数を要したため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 道路ネットワーク強化による災害に強い道づくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が見込める。	○
II. 計画の効果・効率性 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地域の協力が見込める。	○
III. 計画の実現可能性 関連する地方公共団体等の調整が図られている。	○